

## 黒貫寺・高屋神社(西都市)

コミュニティバスの黒貫バス停



そのすぐ近くに所在する黒貴寺/熊襲征伐のため日向に来た景行天皇が、六年間滞在した「高屋宮」伝承地の一つ/前方は山門

 [video](#)





拜殿

 [video](#)



振り返って山門を見下ろしたところ/山門は江戸時代の天明元年(1781年)に再建されたもの/四脚門、切妻造、桟瓦葺、両袖押付/西都市指定有形文化財



拝殿前を右手から見たところ



向拝の海老虹梁/凄い彫刻！



左手から拝殿を見たところ/この境内が「高屋宮」の跡なのか！？



さて、こちらは黒貫寺の真向かいに所在する高屋神社/ここも「高屋宮」伝承地の一つとされる





由緒書き/記紀によると、景行天皇は熊襲征伐のために日向国高屋宮から筑紫へ向けて九州を巡幸/この巡幸は、天皇自身が熊襲を討ち、各地の豪族を服属させていく過程を描いたものとされる(ヤマト王権が九州の豪族たちと協力または抵抗を排除しながら勢力を拡大していった過程を反映しているのだろうか…)

## 高屋神社由緒記

日向國子湯縣なる高屋村日陽山に高屋乃宮三齊奉る  
御祭神は景行天皇大足彦忍代別天冠太穴守命天國主命(アリ  
即ち神武天皇(神日本磐余彦天皇)皇軍と率て大和ノ御幸行  
有り後凡そ七年日向は王化に遠ざかり夷族等勢力を得るに  
到れり。人皇十二代景行天皇(經向日代)の御宇十二年七月熊襲叛  
國人分県海部郡宮の浦に船を着け豊前に入り鼻垂耳垂  
諸諸鬼賦土蜘蛛を討ち陰山を越深谷を渡り日向國子  
湯縣に到り。此の地に御注筆遊はる

十二年丁亥秋十一月高屋行宮(現黒貫寺境内)と興し。天  
皇は官殿の東日陽山景勝の地に宮柱大殿立て神殿を造り  
天神地祇八神及び烈聖の皇靈を鎮め奉り。皇軍克勝と  
御親祭をせ給ふ畏くも天皇は黒木造り(黒貫の名語源  
の御所に於て七年間御辛苦の戦ひ不遂。十三年夏五  
月悉く平定され火の國(熊本)を経て大和ノ御還幸遊はれる。

御推察するに畏き極なり  
其の後壬午年八月再び熊襲叛く。天皇は御子少碓命一日  
奉式命に命じて是を討たせらる。命は直に日向へ渡り古景行  
天皇の御所たり高屋行宮趾幸い高屋宮に皇軍の克勝  
を御祈願の後熊襲建と討す平ひ給ふ。

後里人等景行天皇の傳業と御徳を思ひ奉り其の御神靈  
を高屋宮に奉祀し村の鎮守神として里人の崇敬篤く  
古來祭典は毎月行ひ年間を五度の太小祭有りと謂ふ。

一月正用の餅(餅田)幸小路祝松は松(松田)より納米。

二月春の彼岸(旧暦)には彼岸田(境田)より納米。

三月節句米は三月田(境田)より納米。

五月節句米は五月田(字四反田)祝菖蒲は菖蒲(菖蒲田)より音の九(音)

六月大祓は「拂谷」(字拂谷)より納米。

七月七日、七夕祭は七夕田(字七夕田)より納米。

八月彼岸は彼岸田(字境田)より納米。

九月九日は太々神樂(太祭)にて最大の祭典なり

具の儀前夜、黒貫寺境内の御初家山(景行天皇の仮御所趾)  
に御神靈とお移し申し上り、明九日、三十三番の大々神樂を奉納  
終て御還幸有り。此の制度は明治七年を行なわれ費用  
準備は總て黒貫寺より行なひと謂ふ。

十月星祭は霜月田(字畠間)より納米。

十一月大祓は拂谷(字拂谷)にて

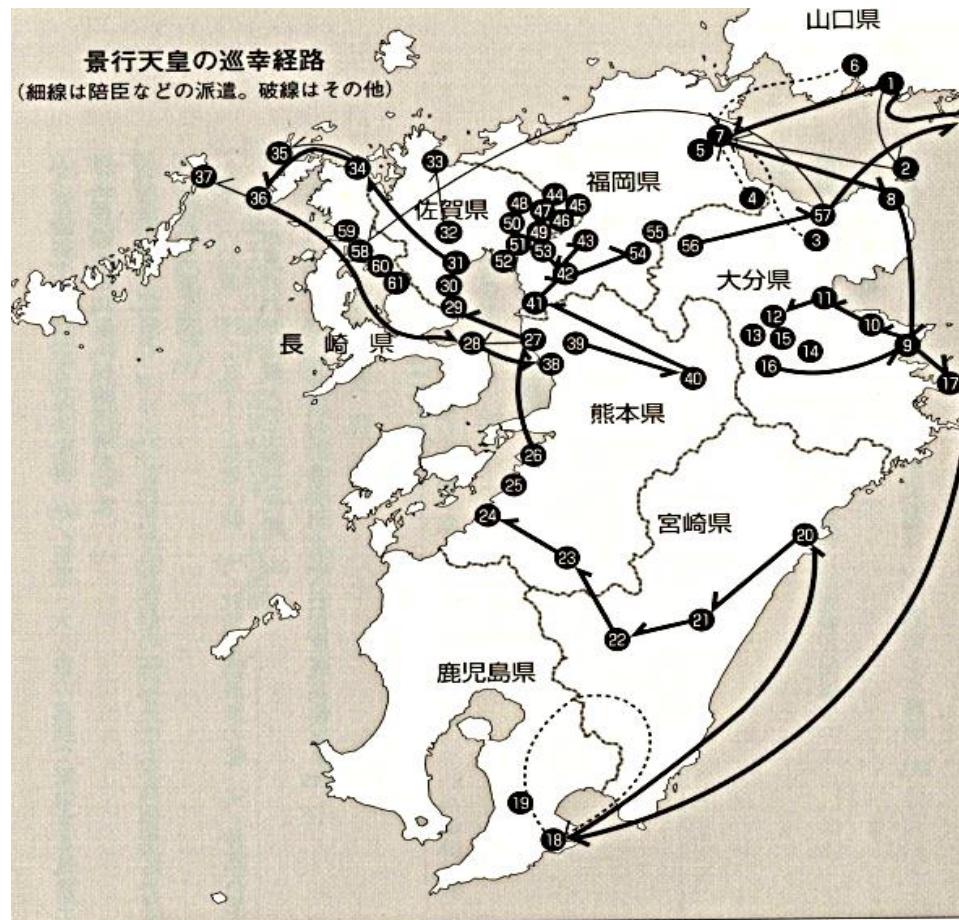
各祭典に用ひるヒトギ(ヒトギ)はひ音田(字四反田)より御供米は

九月田(字拂谷)より奉納。其の初種は米納(字四反田)より納めものなり。

尚例大祭日は旧九月九日として現在に到る

昭和五十九年 旧九月九日

高屋神社宮司 黒岩 淳憲 謹白



- |              |              |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1 姥庶(防府市)    | 2 姫島(姫島村)    | 3 菅狭川上(宇佐市)  | 4 御木川上(上毛町)  | 5 高羽川上(香春町)  |
| 6 緑野川上(山口市)  | 7 長崎県(行橋市)   | 8 伊美郷(国東市)   | 9 宮浦(大分市)    | 10 須田国(大分市)  |
| 11 速見邑(別府市)  | 12 來田見邑(竹田市) | 13 柏峠大野(竹田市) | 14 血田(豊後大野市) | 15 城原(竹田市)   |
| 16 蘿疑野(竹田市)  | 17 穂門(津久見市)  | 18 高屋宮(肝付町)  | 19 笠野原(鹿屋市)  | 20 丹裳小野(日向市) |
| 21 児湯県(西都市)  | 22 壱守(小林市)   | 23 熊県(あさぎり町) | 24 菖北(芦北町)   | 25 水鷲(八代市)   |
| 26 豊村(氷川町)   | 27 長瀬浜(長洲町)  | 28 高來県(雲仙市)  | 29 託羅郷(太良町)  | 30 能美郷(鹿島市)  |
| 31 磬田杵村(武雄市) | 32 壱子山(多久市)  | 33 賀周里(唐津市)  | 34 志佐郷(松浦市)  | 35 大屋島(平戸市)  |
| 36 志式島(平戸市)  | 37 値嘉郷(小値賀町) | 38 王杵名(玉名市)  | 39 高天山(山鹿市)  | 40 阿蘇国(阿蘇市)  |
| 41 御木(大牟田市)  | 42 八女県(八女市)  | 43 高羅(久留米市)  | 44 酒殿泉(鳥栖市)  | 45 曰理郷(鳥栖市)  |
| 46 犀山郷(鳥栖市)  | 47 米多郷(上峰町)  | 48 三根郷(神埼市)  | 49 船帆郷(神埼市)  | 50 蒲田郷(佐賀市)  |
| 51 琴木岡(神埼市)  | 52 宮廻郷(神埼市)  | 53 高三瀧(久留米市) | 54 藤山(上陽町)   | 55 五邑(うきは市)  |
| 56 日田郡(日田市)  | 57 宇佐浜(宇佐市)  | 58 速来村(佐世保市) | 59 健村里(佐世保市) | 60 川岸村(佐世保市) |
| 61 浮穴郷(川棚町)  |              |              |              |              |

景行天皇の巡幸経路/「景行天皇と巡る西海道歴史紀行  
わが国の起源を求めて九州を歩こう/榎原英夫 著」より

21番付近が黒貴寺 西都市荒武、高屋神社 西都市岩爪2600



この石段を登って行く



拝殿

[video](#)



左手から拝殿を見たところ



正面が幣殿/右手は拝殿/左手は本殿

 [video](#)



そこで、左手の拝殿を見たところ/黒貴寺境内も含めてこのエリアが「高屋宮」の跡ということであろうか…



